

コンピュータチェック事例コード

48SJ990578501

コンピュータチェック内容

同日に院外処方された医薬品が 1 品目で一般名処方加算 1 が算定された場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

一般名処方加算は、後発医薬品のある医薬品について、薬価基準に記載されている品名に代えて、一般的名称に剤形及び含量を付加した記載（以下「一般名処方」という。）による処方箋を交付した場合に限り算定できるものである。交付した処方箋に含まれる医薬品のうち、後発医薬品のある全ての医薬品（2 品目以上の場合に限る。）が一般名処方されている場合には一般名処方加算 1 を、1 品目でも一般名処方されたものが含まれている場合には一般名処方加算 2 を、処方箋の交付 1 回につきそれぞれ加算するとされています。

グラフの見方

1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数

2 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)

コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

➤ 全国の査定・返戻割合 79.84%

➤ 検証対象都道府県 23

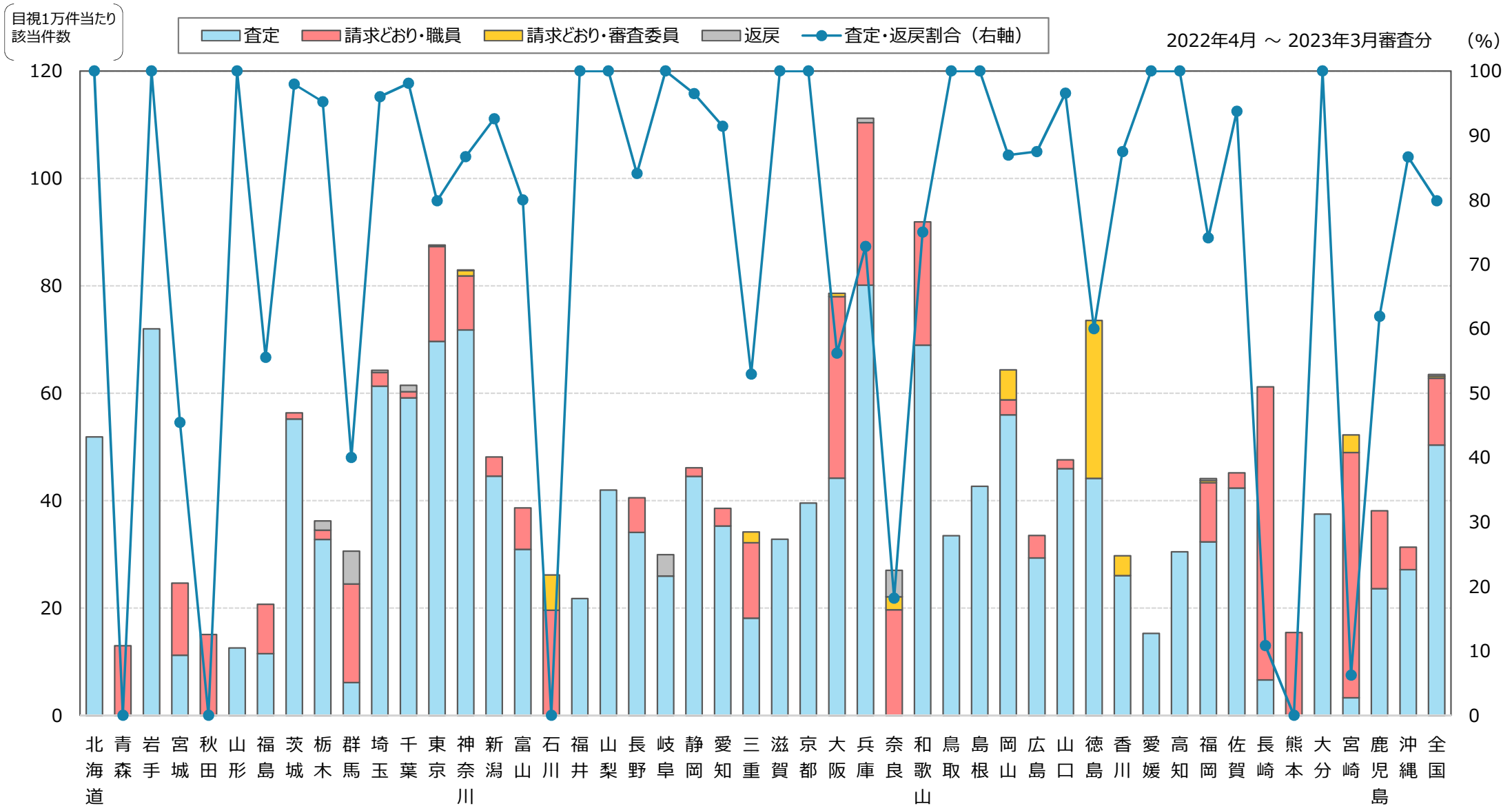
検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	青森、秋田、石川、熊本、宮崎、長崎、奈良、群馬、宮城、三重、福島、大阪、徳島、鹿児島、兵庫、福岡	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	長崎、宮崎、大阪、兵庫、和歌山、奈良、石川、群馬、東京、熊本、秋田、鹿児島、三重、宮城、青森、福岡	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	徳島、石川、岡山、宮崎、奈良、三重、神奈川、大阪、福岡	〃

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数(全国)	当該コンピュータチェックの内容に該当	
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	3,448件
検証を必要とする審査	請求どおり	2,753件
		695件

コンピュータチェック対象:一般名処方加算1 (処方箋料)

歯科



該当件数	88	4	15	11	5	4	9	49	21	10	151	157	913	587	27	5	4	4	8	44	15	57	105	17	18	24	386	279	11	16	9	15	23	40	29	5	8	5	9	112	16	37	6	38	16	21	15	3,448
請求どおり件数	0	4	0	6	5	0	4	1	1	6	6	3	184	78	2	1	4	0	0	7	0	2	9	8	0	0	169	76	9	4	0	0	3	5	1	2	1	0	0	29	1	33	6	0	15	8	2	695

【該当件数】当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数